



0・1・2歳児

4月 すくすくだより

新年度が始まり、はや一か月がたとうとしています。新しい環境の中で、わくわく、緊張、不安、たくさんの表情が見られました。大好きなおうちの人と離れ、泣いていた子どもたちも、友達や保育者と一緒に好きな玩具を手に取り、少しずつ笑顔で過ごす時間が増えてきました。さまざまな気持ちを受け止めながら、一人ひとりの子どもたちを見守りたいと思います。

☆ お願い ☆

新しい生活が始まり、体調を崩したり疲れがでたりする頃です。毎日の子どもの健康観察や小さな変化を担当にお知らせください。またGWなど仕事がお休みの時はご家庭でゆっくりと体を休めるようにしましょう。



1歳児 ひよこぐみ

初めて保護者の方と離れて過ごす生活が始まりました。子ども達は泣きながらも保育者とわらべうたをしたり好きなおもちゃを見つけて遊んだりしています。一番お気に入りのおもちゃは空き容器で作った底に色のついたカップです。色とりどりのカップを重ねたり並べたり、カップの上部を合わせて聞こえてくる音を楽しんでいる姿も見られました。Aさんはカップの中に短く切ったホースやチューリングを入れ始め、そのカップを「どうぞ」と保育者や友達に配っていました。その姿はまるでレストランの店員さんのようでした。少しずつ友達にも興味が出始めてかわわりを持とうとしています。泣いている友達がいたら顔を覗いて頭をなでなで。泣いていた子どもも涙が止まっていました。友達パワーですね。



【2歳児 あひるぐみ】

あたたかな日差しに誘われて、園周辺の散歩に出かけました。小鳥のさえずりやたんぽぽの花などに気づき、春を感じています。ある畑のそばを通りかかるとたくさんのテントウムシに出会いました。その数は数えきれないほど…あまりの多さに言葉を失い、目を丸くしていました。飼育ケースに入れて持ち帰り、保育室で観察すると、ケースの淵や入れた割りばしに沿って歩くテントウムシの姿を食い入るように見つめます。「あ——おちちゃう」「ダメ、ダメ、こっちこっち」とまるで迷子を心配するお母さんのような言葉がけをします。その様子を見ているだけで、いつもおうちの人に声をかけてもらっていることが想像できました。



園庭ではこいのぼりが泳ぐ空の下で、はしごやマットなどを使ってアスレチックに挑戦中。平均台を渡りながらkさんが「おっと」とバランスをとっていました。それを見ていたAさんが「あー！テントウムシみたい！」と。割りばしや花の茎に沿って歩くテントウムシを思い出し、kさんの平均台の姿と重ね合わせました。



0歳児 りすぐみ

りすぐみでの生活がスタートしました。はじめての園生活で泣いてしまうこともありましたが、日ごとに泣く時間も短くなり少しずつ園生活に慣れてきています。保育者にも笑顔をみせてくれる日も増えてきています。

一人一人の生活リズムを大切にしつつ、保育者と一緒に興味のあるおもちゃを見つけて、手にとってみたり、なめてみたり、振ってみたりして遊んでいます。寝返りができるようになったり、つかまり立ちを披露してくれたりしていました。今年1年どんな成長をみせてくれるのか、保護者の方々と共に楽しみたいと思います。

